

「70 選出版再開プロジェクトの紹介」

実務家のための知的財産権判例 70 選について、出版再開までの道のりをご紹介します。



判例 70 選出版再開プロジェクト 芝田美香

1. 実務家のための知的財産判例 70 選

一般社団法人弁理士クラブ知的財産実務研究所が編集・出版する「実務家のための知的財産権判例 70 選」が、令和 7 年 1 月 23 日を初版発行日として、ついに発行されました！

(書籍販売リンク：<https://amzn.asia/d/aSDwVF5>)

2002 年より発明推進協会より毎年発行していた本書は、2021 年度版の発行以降、発行を休止しておりましたが、本年度、一般社団法人弁理士クラブ知的財産実務研究所による発行として出版再開に至りました。

本稿では、判例 70 選出版再開プロジェクトによる、実務家のための知的財産権判例 70 選 (70 選) 出版再開までのストーリーをご紹介します。



2. 判例 70 選出版再開プロジェクト

プロジェクト立ち上げに先立ち、有志メンバーが集い「とにかく判例 70 選の出版を再開しよう！」という決意を固めたのは、2024 年が始まったばかりの頃でした。その後、2024 年春過ぎまでのプロジェクト初期は、出版社の検討や選定・関係各位への出版再開に向けた説明会の実施等、一般社団法人弁理士クラブ知的財産実務研究所自身が書籍を出版するための調査、検討、打ち合わせが続きました。書籍出版という、メンバーにとっても不慣れで初めての検討事項が多く、手探りの状態が続きましたが、当初決意した「とにかく出版を再開する」という目標に向け、時間はかかりながらも何とか少しずつ前に進めていたという状況でした。

3. 書籍出版までのプロセス

夏頃からは、執筆者の募集、原稿依頼、グループリーダーによる原稿チェック等の原稿

作成段階に入りました。原稿作成・回収自体は、これまでの発行手順を参考にしつつ進められたものの、蓄積していた3年分の裁判例の扱い方や、電子書籍化のための確認等も併行して進んでおり、プロジェクトメンバーにとって多忙な時期になりました。本年度は、上記のように出版社探しや出版再開説明会等を経て執筆者募集に至った経緯から、執筆依頼から原稿回収やチェックのために、残念ながら十分な期間をとることができませんでした。短期間の入稿やチェックにご協力いただきました先生方に、改めまして心より御礼申し上げます。

その後の秋以降は、原稿の一次校正及び二次校正を経て、紙書籍及び電子書籍の両方に入稿できる状態にする段階になりました。この段階では、特に細かい確認事項や要修正点が多く発覚し、常にメンバー間でやり取りをしていた記憶があります。例えば、紙書籍のP.5やP.119にある章間の見出しページの検討、目次の作成、各記事の体裁を調整すること等、一つ一つ過去の書籍を参考にしながら確認と修正を繰り返しました。従前の出版のように、出版社のプロの方々の助けなく自身で書籍を出版することの重大さと大変さを改めて強く感じた時期でした。

このように2024年度拡大版の判例70選の出版に至るには、約1年以上に渡る多様な検討事項と打合せの積み重ねがありました。その分、いよいよ出版が実現し、実物の書籍が手元に届いたときは感動的でした。

4. 2025年度版発行に向けて

さて、実務家のための知的財産権判例70選について、今後も出版継続すべく、本年度の70選部会がスタートしています。今年は、昨年度の検討や経験を踏まえ、出版までのスケジュール見直し等、書籍の内容をより充実すべく改善案が検討されています。

書籍の出版継続には、多くの先生方のご協力が必須になりますので、機会ありましたら、ぜひ皆様のお力添えもご検討いただけますと幸いです。引き続きご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

5. 最後に

グループリーダー及び執筆者の各先生方の原稿準備に向けたご尽力、並びに相談役会の諸先生方のお力添えをいただきまして、ついに70選の出版再開に至ることができました。この場をお借りし、70選出版再開に向けご協力いただきました先生方に改めて心より御礼申し上げます。

そして、一年以上に渡り、数々の打合せや検討の時間を共にさせていただきました、奥川勝利先生、加藤和孝先生、小越一輝先生、大井道子先生、玉腰紀子先生、三浦淳史先生、阪上健先生、中澤奈美先生、本当にありがとうございました。正直なところ、このプロジェクトは本当に大変でしたが、書籍出版という貴重な体験に関わることができ今は感謝いっぱいです。